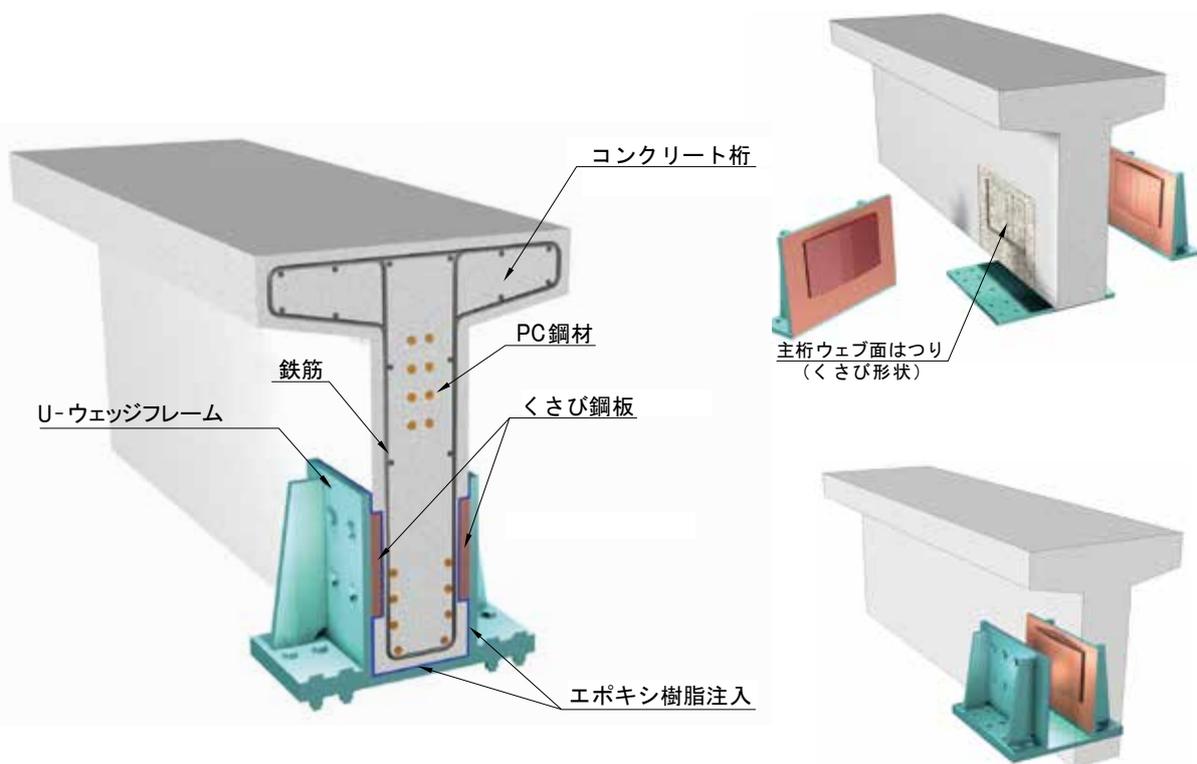


U-ウェッジフレーム

はじめに

既設橋梁の耐震補強のため変位拘束構造と PC 桁等を連結する場合、従来は主桁ウェブに貫通孔をあけるアンカーバー形式を採用することが一般的です。しかし、主桁には鉄筋や PC 鋼材が配置されており、その損傷を避けるために鉄筋探査が必要となること、鉄筋や PC 鋼材を避けてアンカーバーを配置せざるを得ないことから、構造や施工性に問題があります。本工法では、主桁側の部材がアンカーバーではなく、くさびの作用による押圧力と接着力によって主桁に定着されています。本定着構造を設置する場合、既設桁のかぶりコンクリートのはつりのみの工事となるため、構造に与える影響の緩和、施工性の向上及びコスト縮減が可能となります。

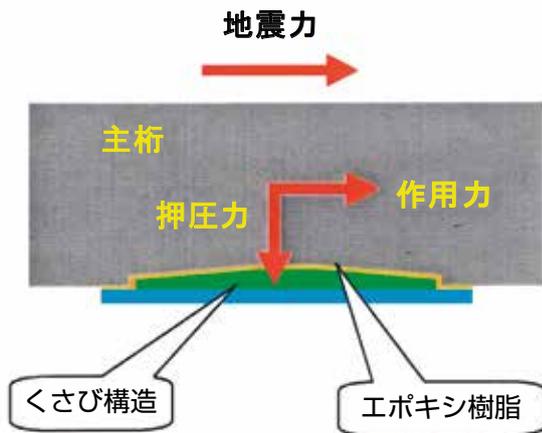
U-ウェッジフレームの基本構造



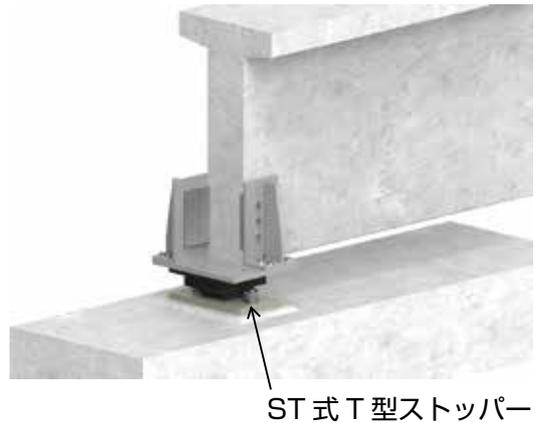
特長

1. 主桁ウェブのはつり部にくさび鋼板を配置した U-ウェッジフレームを主桁と接着剤で定着し、一体化させた構造です。
2. はつり部はかぶり内 (10mm ~ 30mm) でくさび形状に仕上げます。
3. 地震発生時にはくさび作用による押圧力と接着力で、取り付け部が確実に機能できるように配置した構造です。
4. アンカーバー形式と比較して工程数が少なく、工期を短縮できます。
5. 変位拘束構造である ST 式 T 型ストッパーと本装置を組み合わせた構造で使用できます。

■ U-ウェッジフレームの構造



■ 全体構造



■ 実物大実証試験



■ 施工例



東京ファブリック工業

支店

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
 金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島



お問い合わせ先

本店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
 URL : <https://www.tokyo-fabric.co.jp/>